

サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高3／本科・GS	教科／科目	社会／地理探究	時間数	週4時間
1学期中間試験					
単元名	中国地誌・南アジア(インド)・東南アジア地誌			使用教材	
単元の概要	グローバルサウスとして有名な3国の地理学的特徴から経済成長と適切なかわり方について学び、考える			『地理探究』(二宮書店)・『詳解現代地図 最新版』(二宮書店)	
評価規準			単元内容		
究	A3 中国・インド・インドネシアの地理的特徴を表現・説明できる。	B3 中国・インド・インドネシアの地理的特徴を深化・転移・統合できる。	C3 中国・インド・インドネシアの地理的特徴をもとに、クリエイティブに考えることができる。	○中国の基本情報 ○中国の成り立ちと領土 ○中国の地形 ○中国の民族、宗教 ○中国の人口 ○中国の産業と経済発展 ○中国との適正距離	○インドの人口 ○インドの産業と経済発展 ○インドとの未来展望 ○インドネシア(東南アジアを代表する国家)の基本情報 ○インドネシアの成り立ちと国際関係
	活	A2 中国・インド・インドネシアの地理的特徴を理解している。	B2 中国・インド・インドネシアの地理的特徴を系統地理と照らし合わせて、他地域と結び付けられる。	C2 中国・インド・インドネシアの地理的特徴をもとに、クリティカルに考えることができる。	○インド(南アジアを代表する国家)の基本情報 ○インドの成り立ちと国際関係 ○インドの地形 ○インドの民族、宗教
礎	A1 中国・インド・インドネシアの地理的特徴を知っている。	B1 中国・インド・インドネシアの地理的特徴を系統地理と照らし合わせて一般化できる。	C1 中国・インド・インドネシアの地理的特徴をもとに、ロジカルに考えることができる。	〈留意点・評価〉	
				○適宜、思考力を問う問題演習(レポート形式を含む)を実施する予定。	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高3／本科・GS	教科／科目	社会／地理探究	時間数	週4時間
1学期期末試験					
単元名	西アジア地誌、トルコ地誌、ヨーロッパ地誌(西欧メイン)				使用教材
単元の概要	西アジア・トルコ・ヨーロッパの地理的特徴から地域同士のつながりについて学び、考える				『地理探究』(二宮書店)・『詳解現代地図 最新版』(二宮書店)
評価規準				単元内容	
究	A3 西アジア・トルコ・ヨーロッパの地理的特徴を表現・説明できる。	B3 西アジア・トルコ・ヨーロッパの地理的特徴を深化・転移・統合できる。	C3 西アジア・トルコ・ヨーロッパの地理的特徴をもとに、クリエイティブに考えることができる。	○UAE(西アジアを代表する国家)の基本情報 ○UAEの成り立ちと国際関係 ○UAEの地形、気候 ○UAEの民族、宗教 ○UAEと石油 ○UAEと観光産業 ○UAEと対外関係	○トルコという国の地理学的重要性と影響力 ○ヨーロッパの地形、気候 ○ヨーロッパ各国の産業、民族、宗教(仏・独・伊・西・瑞・希など)
	活	A2 西アジア・トルコ・ヨーロッパの地理的特徴を理解している。	B2 西アジア・トルコ・ヨーロッパの地理的特徴を系統地理と照らし合わせて、他地域と結び付けられる。	C2 西アジア・トルコ・ヨーロッパの地理的特徴をもとに、クリティカルに考えることができる。	
礎	A1 西アジア・トルコ・ヨーロッパの地理的特徴を知っている。	B1 西アジア・トルコ・ヨーロッパの地理的特徴を系統地理と照らし合わせて一般化できる。	C1 西アジア・トルコ・ヨーロッパの地理的特徴をもとに、ロジカルに考えることができる。	〈留意点・評価〉	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考	○適宜、思考力を問う問題演習(レポート形式を含む)を実施する予定。	

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース		高3／本科・GS		教科／科目		社会／地理探究		時間数		週4時間		
2学期中間試験												
単元名		アフリカ地誌・南米地誌						使用教材				
単元の概要		旧植民地が多いアフリカ・南米の地誌を学ぶことで植民地支配の影響の深さを理解し、この歪な関係を正す方法を思考する。						『地理探究』(二宮書店)・『詳解現代地図 最新版』(二宮書店)				
評価規準						単元内容						
究 活 礎	A3	B3	C3	○アフリカの基本情報 ○アフリカが独立を回復するまで ○アフリカの地形 ○アフリカの民族、宗教 ○アフリカの人口動態 ○アフリカの産業と経済発展 ○アフリカが真に自立するには				○ブラジルと南米の移民 ○ブラジルの産業と経済発展 ○グローバルサウスの大国といかに上手く付き合うか				
	A2	B2	C2	○ブラジル(南米を代表する国)の基本情報 ○ブラジルと南米の振り回されてきた歴史 ○ブラジルの地形 ○ブラジルの民族、宗教(と背景)								
	A1	B1	C1	〈留意点・評価〉								
	知性・知識			応用・発展			○適宜、思考力を問う問題演習(レポート形式を含む)を実施する予定。					
				創造的思考								

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高3／本科・GS	教科／科目	社会／世界史探究	時間数	週4時間
2学期期末試験					
単元名	北米地誌・豪州地誌				使用教材
単元の概要	日本とともに環太平洋地域を構成する二か国について学び、現在の日本の多国間関係を知り、今後どのような関係を築いていくべきか思考する。				『地理探究』(二宮書店)・『詳解現代地図 最新版』(二宮書店)
評価規準			単元内容		
究	A3 アメリカ・オーストラリアの地理的特徴を表現・説明できる。	B3 アメリカ・オーストラリアの地理的特徴を深化・転移・統合できる。	C3 アメリカ・オーストラリアの地理的特徴をもとに、クリエイティブに考えることができる。	○アメリカ(北米を代表する国家)の基本情報 ○アメリカの成り立ちと国際関係 ○アメリカの地形、気候 ○アメリカの民族、宗教 ○アメリカの産業変遷 ○アメリカの栄華とIT産業 ○アメリカは超大国でいられるのか	○オーストラリアの地形、気候 ○オーストラリアと多文化共生 ○オーストラリアの農業 ○オーストラリアの鉱産資源 ○オーストラリアと太平洋諸国
活	A2 アメリカ・オーストラリアの地理的特徴を理解している。	B2 アメリカ・オーストラリアの地理的特徴を系統地理と照らし合わせて、他地域と結び付けられる。	C2 アメリカ・オーストラリアの地理的特徴をもとに、クリティカルに考えることができる。	○オーストラリア(オセアニアを代表する国家)の基本情報 ○オーストラリアの成り立ちと国際関係	
礎	A1 アメリカ・オーストラリアの地理的特徴を知っている。	B1 アメリカ・オーストラリアの地理的特徴を系統地理と照らし合わせて一般化できる。	C1 アメリカ・オーストラリアの地理的特徴をもとに、ロジカルに考えることができる。	〈留意点・評価〉	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考	○適宜、思考力を問う問題演習(レポート形式を含む)を実施する予定。	